



みなみ小だより

学校教育目標

学び合う子

助け合う子

鍛え合う子

学校だより 2月号
鹿沼市立みなみ小学校
TEL 0289-75-4021
令和3年2月発行
文責：後藤 勝浩



★みなみ小ホームページへ

感謝する心は、人生の土台・・・

★2月になり、卒業や進級を目前にすると、自分の成長を振り返り、周囲に感謝する場面が学校生活でも多くなります。

小学校の道徳の時間には、「感謝」という内容項目について、

- 低学年では、“家族など日頃世話になっている人々に感謝すること”
- 中学年では、“家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接すること”
- 高学年では、“日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えること”

という内容で学ばせることになっています。

これは、中学校の道徳科や高等学校の公民科・ホームルームでの指導に発展していきます。

そして社会に出ても、「感謝の心」は人間関係や企業経営の柱になります。モノづくりに秀でた日本の社会。確かな技術力で作られる製品には、それを作る人の心が反映されていると言われています。“感謝こそが企業経営の原点”だというのは、松下幸之助をはじめ多くの経営者が語っています。

人生において大切なことは、小学生のうちから学んでいるのです。感謝することの大切さ。そのために必要な素直な心、謙虚さ。どの職業に就いても、生涯にわたって必要とされるものです。

子どもたちの心に、しっかりと育んでいきたいものです・・・

1年間の総まとめの時期。子どもたちの学習の一場面。



●すべての学年で、一人一人が自分らしく一生懸命に学習に取り組んでいます。



【1年生；生活科】



【3年生；学級会】



【5年生；総合的な学習】



【2年生；道徳】



【4年生；体育】



【6年生；外国語】

学校全体の取組から..

性に関する指導月間

●本校では、「性に関する指導月間」を2月と定め、担任と養護教諭のチームティーチングで全学年で指導します。各学年のテーマに沿って、性に関する正しい知識を知り、差別や偏見をなくし共に生きる態度を育てることを目的としています。



学校給食週間

●1月25日(月)からの一週間は、「学校給食週間」として、テーマを設定した献立による給食をいただきました。毎日、おいしい給食を作ってください調理員さんへの感謝の気持ちを、健康委員会の児童がまとめ、昇降口に掲示しました。



予告なし避難訓練

●2月9日(火)、今年度最後の避難訓練を予告なしで行いました。家庭科室から火が出たことを想定し、校庭に避難しました。火災の恐ろしさを知り、「自分の命は自分で守る」「おかしもち(押さない・駆けない・しゃべらない・戻らない・近づかない)」の大切さを再確認しました。



プログラミング学習

●新学習指導要領の全面实施により、今年度より小学校ではプログラミング学習を行っています。プログラミング的思考(物事を論理的に考えていく力)を育てることを目的として、総合的な学習の時間等に位置付けて取り組んでいます。



外部からの指導者も、一生懸命に教えてくださいます...

ALTのビビロ先生との英語の学習

●ALTのビビロ先生は、月曜日と火曜日に来校します。学級担任が中心となりビビロ先生とチームティーチングで進める英語学習ですが、どの学年からも毎回楽しそうな大きな声が響いてきます。臆せず英語で会話することができる大人に成長してほしいと感じています。



図書支援員さんによる読書の啓発

●学校ホームページでも紹介しているように、図書支援員の青木さんは、貸出し業務だけでなく、図書委員会児童との活動や本の修繕、掲示物の作成等、幅広い仕事をしてくださっています。子どもたちの読書への関心が少しでも高まるように環境整備に尽力してくださっています。

